

■東区美和台におけるバス運行社会実験の報告について

【実施主旨】

美和台校区自治協議会が、平成22年4月に「美和台校区コミュニティバス検討委員会」を立ち上げ、校区内の住民を対象としたアンケート調査を実施するなど、バスの運行に向けた取り組みを始め、平成23年9月から社会実験の実施に向けた検討を進め、西日本鉄道株式会社が社会実験としてバスの運行を実施したものである。

○美和台校区の状況（平成23年9月_住民基本台帳）

人 口 : 15,839人
 高齢化率 : 22.3%（全市平均17.6%）
 世 帯 数 : 6,637世帯

○社会実験の運行における概要

運行区間 : マルシヨク三苦店～西鉄三苦駅～JR福工大前駅～福岡和白病院
 （新町ルート・公民館ルート・外周ルートの3ルート）

運行本数

	新町ルート	公民館ルート	外周ルート
平 日	21.0往復	10.0往復	9.0往復
土曜日	9.5往復	5.0往復	4.0往復
日祝日	運 休		

運行期間 : 平成24年 2月27日 ～ 平成24年 5月26日（3ヶ月）

運賃（料金）額

運 賃	小学生以上	200 円 （小学生 100 円）
	小学生未満	無料 ※1
	障がい者割引	100 円 （身体障がい者、知的障がい者）

※1. 保護者同伴（但し、保護者1人につき2人まで）に限り

運行事業者 : 西日本鉄道株式会社

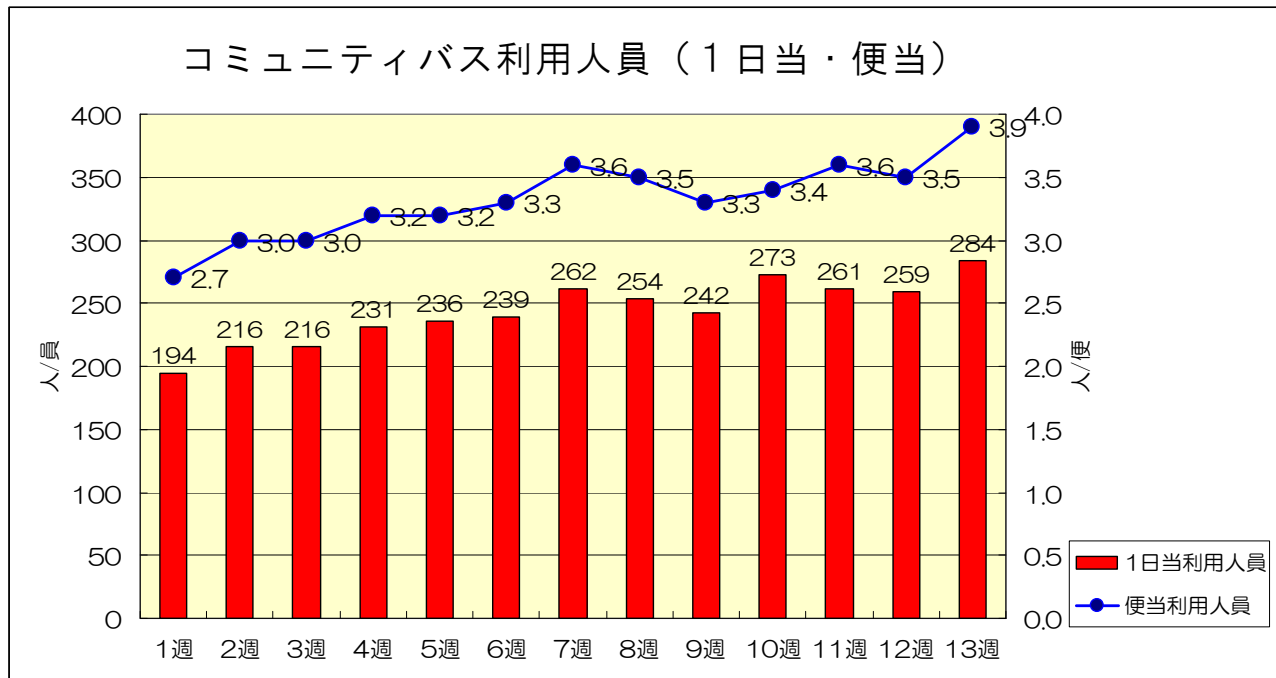
【実績報告】

○コミュニティバス利用人員数

◆延べ 17, 673人の利用

◆日平均 244人の利用〈最大人員 368人〉

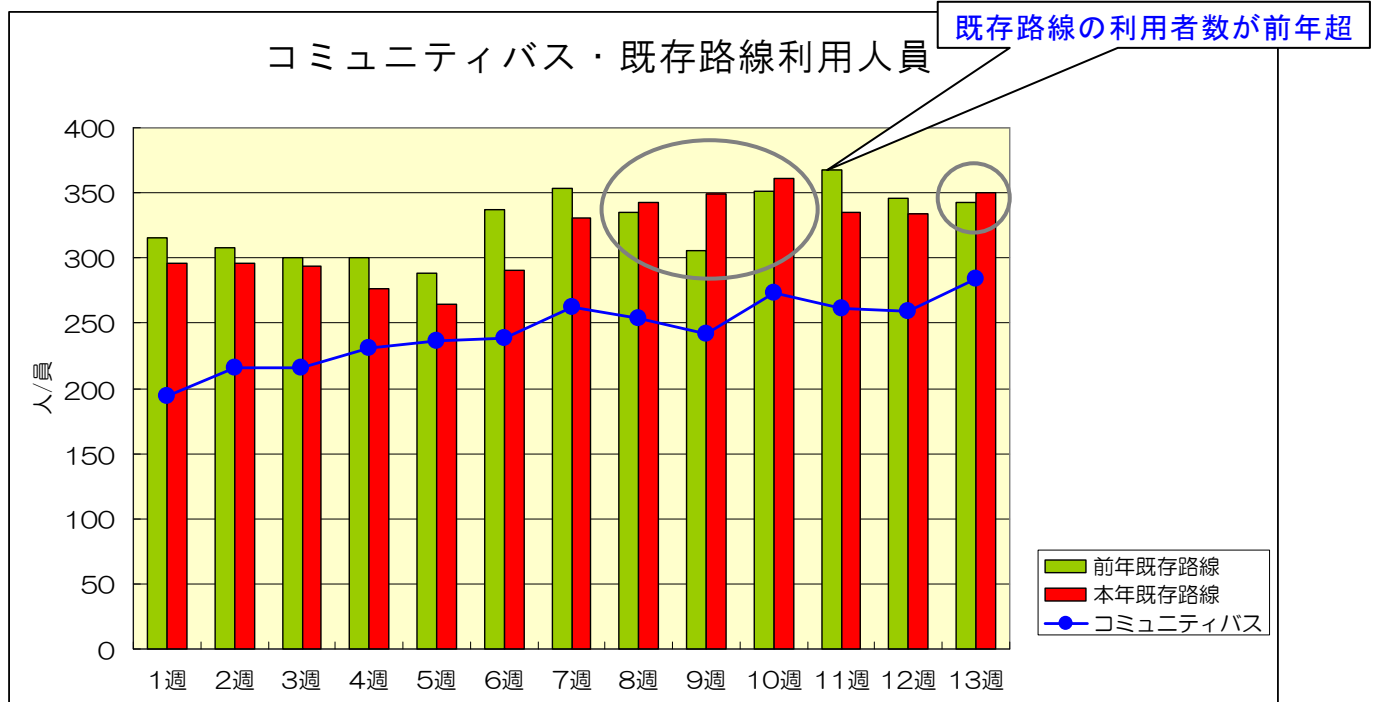
〈採算ラインの800人には届かず〉



○コミュニティバス・既存路線利用人員

◆既存路線バスの利用者数について、前年数値とほぼ変化がない。

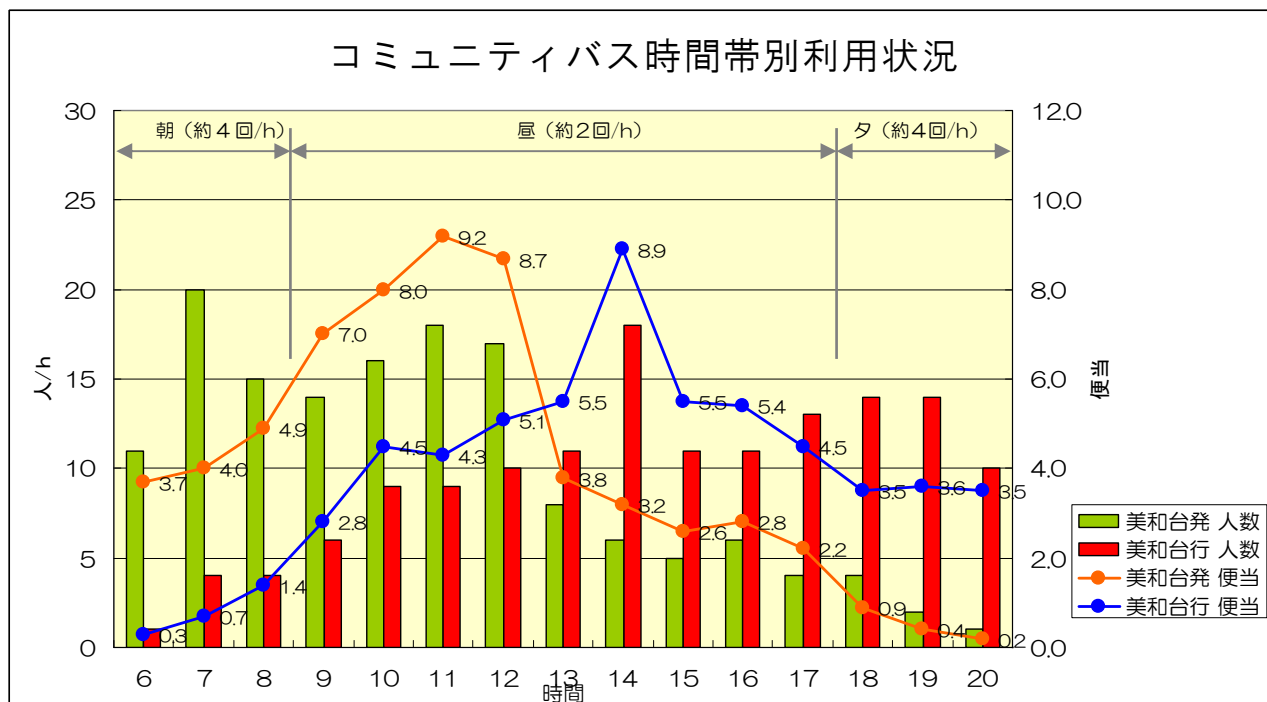
⇒路線バスとの共存・これまでバス利用をしていなかった人の発掘



○コミュニティバス時間帯別利用状況

◆昼間帯の利用が多い

⇒通院・買い物等の利用層が多いことが推測される。



○地域住民の意識と行動に関する調査〈住民アンケートの実施〉

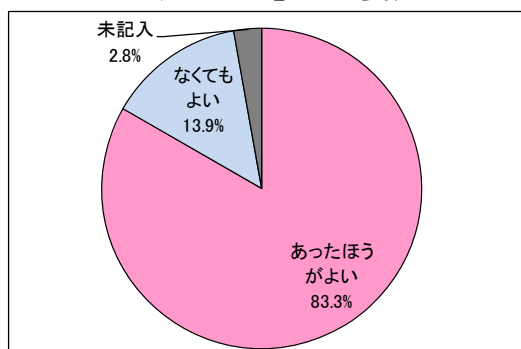
◆アンケート調査概要

【調査対象者】：美和台校区住民

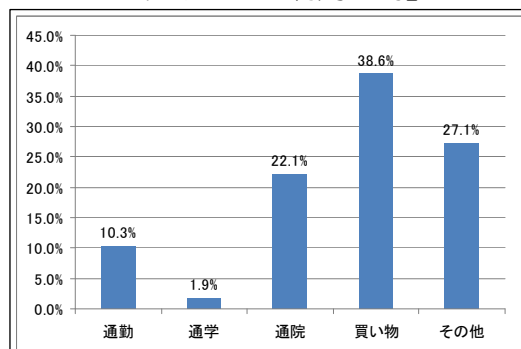
【標本数】：3, 161票

【調査期間】：平成24年2月28日～平成24年3月15日

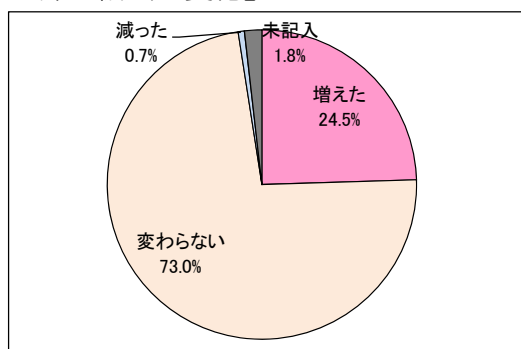
Q.「コミュニティバス」の必要性について



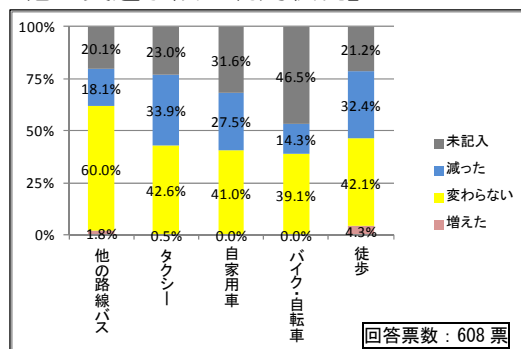
Q.「コミュニティバスの利用目的」について



Q.「外出機会の変化」について



Q.「他の交通手段の利用状況」について



○地域住民の意識と行動に関する調査（アンケート自由意見）

【主な意見】（※概要）

凡例 青：肯定的意見，赤：否定的意見，緑：その他意見

□コミュニティバスの運行に好意的な評価，存続要望に関する事。⇔ 否定的意見もあり

□将来的な利用・必要性に関する事。

□運賃に関する事（町費や受益者負担）

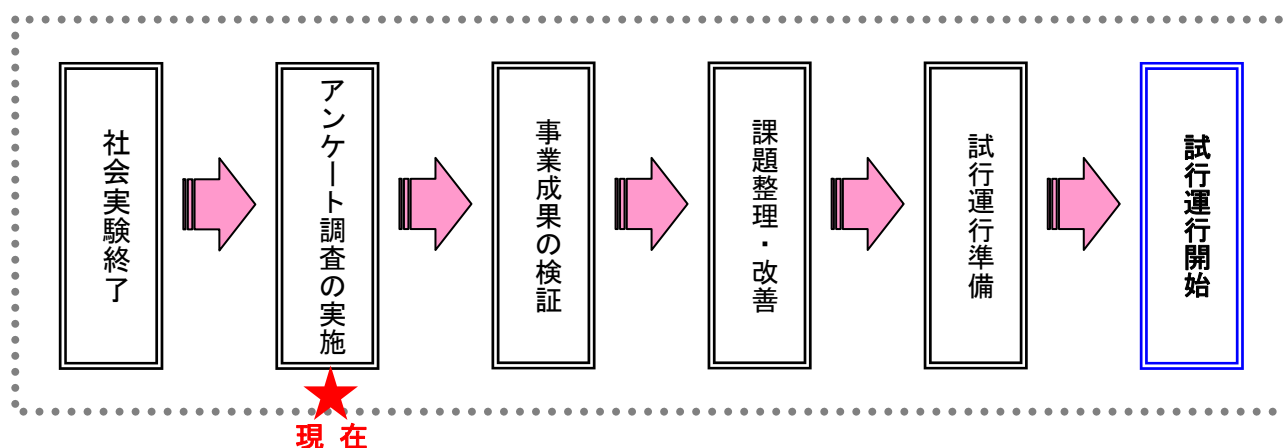
□運賃に関する事（運賃が高い，新宮町コミュニティバスとの比較など）

□バス停の設置位置に関する意見・要望

□その他（既存路線バスの運行に関する事，社会実験への提案等）

⇒意見の多数においては，コミュニティバスの運行に関して肯定的意見であったが，地域による取組みとして，課題等の検証・改善に向けた事業の精選化が必要である。

○地域による今後の展望



○事業評価について

◆現時点において事業を評価できる熟度に至らないが，今後の展開も含め，地域を主体とする取り組み事例として，市内その他の地域における公共交通不便地対策の仕組みづくりや公共交通のあり方について，事業のひとつのモデルとして利用できるものとする。

【参考】「公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例」（※抜粋）

（目的）

第1条 公共交通空白地及び移動制約者に係る生活交通の確保を図るため，市民，市民団体，市及び公共交通事業者の役割を明らかにし，生活交通の確保に関する施策を定めるとともに，市民，市民団体及び公共交通事業者による主体的な取組を促進することにより，すべての市民に健康で文化的な最低限の生活を営むために必要な移動を保障し，もって活力の再生を目指すことを目的とする。